

主な定格

	IC-SAT100
寸法	57.8(W)×135(H)×32.8(D) mm (BP-300装着時、突起物・アンテナを除く)
重量	約360g (BP-300、アンテナを含む)
画面寸法	33mm (W)×27mm (H) (表示領域)
動作温度範囲	−30℃〜+60℃
音声出力	内部SP：1500mW typ. (負荷インピーダンス8Ωにて5%歪時) 外部SP：1000mW typ. (負荷インピーダンス8Ωにて5%歪時)
運用時間	14.5時間 (送信5:受信5:待ち受け90時)
トークグループ	最大15グループ
堅牢性	MIL-STD 810G
防塵・防水性能	IP67/55/54 (バッテリーバック、アンテナ装着時)
アンテナコネクタ	SMA

オプション

リチウムイオンバッテリーバック  BP-300 7.2V 2200mAh min. (2350mAh typ.) (付属品と同一)	充電器  BC-241 急速充電器 (ACアダプターBC-242付属) (付属品と同一)	 BC-214N 6連充電器 (充電アダプターAD-140を 6個組込み、ACアダプターBC-157S付属)	スピーカー・マイクロホン  HM-222 防水スピーカー・マイクロホン (イヤホンジャック付き) (SP-29/SP-40と組み合わせて使用可能)	タイピン・マイクロホン  HM-163MC タイピン・マイクロホン (EH-15B/SP-26/SP-28と組み合わせて使用)	イヤホン・ジャックアダプター  AD-135 イヤホン・ジャックアダプター (SP-29/SP-40と組み合わせて使用)
イヤホン					
 EH-15B イヤホン (プラグ直径2.5φ) (HM-163MCと組み合わせて使用)	 SP-32 チューブ式イヤホンアダプター (EH-15B用)	 SP-26 チューブ型イヤホン (プラグ直径2.5φ) (HM-163MCと組み合わせて使用)	 SP-28 耳掛け型イヤホン (プラグ直径2.5φ) (HM-163MCと組み合わせて使用)	 SP-29 耳掛け型イヤホン (プラグ直径3.5φ) (HM-222/AD-135と組み合わせて使用)	 SP-40 小型マグネチックイヤホン (プラグ直径3.5φ) (HM-222/AD-135と組み合わせて使用)
Bluetooth®ヘッドセット  VS-3 Bluetooth®ヘッドセット	電源ケーブル  OPC-656 DC電源ケーブル (BC-214N用)	ベルトクリップ  MBB-5 (付属品と同一)	アンテナ  FA-S102U (付属品と同一)	接続ケーブル  OPC-2412 接続ケーブル (VE-PG4との接続用)	

アイコム株式会社 国内営業部 〒135-0042 東京都江東区木場2丁目17-16 5F TEL 03-6240-3549 高品質がテーマです。

製品の技術的なお問い合わせ

アイコムサポートセンター (平日9:00~17:00)	フリーダイヤル ☎:0120-156-313 携帯電話・PHS・公衆電話からは:06-6792-4949
--------------------------------	---

その他のお問い合わせは最寄りの営業所までご連絡ください。
最寄りの営業所はホームページでご確認ください。 www.icom.co.jp

 注意	正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください。	●IC-SAT100は、国・地域によっては持込や使用を禁止されている場合があります。●定格・仕様・外観等は改良のために予告なく変更することがあります。●製品の色は印刷の関係上、実際のものとは多少違うことがあります。●アイコム株式会社、アイコム、ICOMロゴは、アイコム株式会社の登録商標です。●Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、アイコム株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。●イリジウム及びIridium connectedロゴは、Iridium Satellite LLCの登録商標です。●イヤホン使用時は、音量には十分ご注意ください。
--	---	--

送信ボタンひと押しで世界中と同報通信できる衛星無線。



緊急時や通信インフラのない場所でも、



SATELLITE PTT IC-SAT100

SATELLITE PTTとは

SATELLITE PTT (Push-To-Talk) は、衛星通信を使用した無線機です。衛星間で通信するため、大規模災害で地上のインフラがダウンした場合や、通信インフラの整備されていない山間部や離島などでも安定した通信を確保できます。



1対多数の同報通信が可能

衛星電話とは異なり、送信 (PTT) ボタンを押すだけで同時に複数の相手に音声を送ることができます。



Q&A

Q1. 料金体系は？

A 料金体系は月額固定で、原則、通話時間による従量課金^{※1}はありません。料金は通信範囲の規模と、端末の契約台数によって異なります^{※2}。
^{※1} 一部料金体系が異なる国・地域や、サービスを利用できない国・地域もあります。
^{※2} 最低契約台数は3台です。

●通信範囲について

通信範囲サイズ	Small	Medium	Large	Extra Large	Jumbo
通信範囲面積	100,000km ² (半径178km)	300,000km ² (半径309km)	750,000km ² (半径480km)	1,500,000km ² (半径691km)	2,250,000km ² (半径846km)

Q2. トークグループとは？

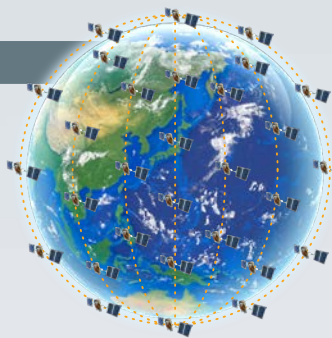
A 通信するグループのことです。端末 (IC-SAT100) の契約台数に応じた数のトークグループが割り当てられ、トークグループごとに端末を登録し、グループを作成し通話できます。

送信ボタンひと押しで音声を一齐送信。

地球規模の広域通信[※]

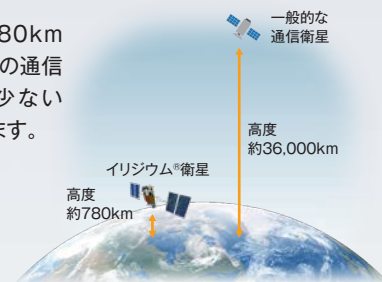
北極・南極を含む地球全体をカバーするイリジウム[®]社の衛星ネットワークにより、国をまたいだ世界規模の広域通信が可能です。

[※] 国・地域によっては、持ち込みや使用を禁止されている場合があります。



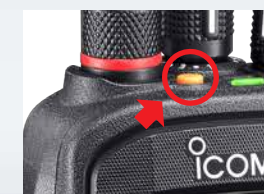
音声遅延の少ないリアルタイムな通信

イリジウム[®]衛星は上空約780kmの低軌道を周回するため、他の通信衛星と比べて音声遅延の少ないリアルタイムな通信を実現します。



緊急呼び出しボタン

無線機天面にあるオレンジ色の緊急呼び出しボタンを押すだけで、あらかじめ設定した端末に緊急呼び出しを一齐送信します。



緊急呼び出しボタン

防塵、防水の堅牢ボディ

IP67[※]防塵・防水、また米国国防総省物資調達基準MIL-STD 810Gに準じる堅牢性を備え、苛酷な環境でも安心して使えます。

[※] バッテリーパック、アンテナを正しく装着した状態で、試験用粉塵を1m²あたり2kgの割合で浮遊させた中に8時間放置したのちに取出し、無線機の内部に粉塵の浸入がないこと。また、水深1mの静水 (常温の水道水) に静かに沈め、30分間放置したのちに取出し、無線機として機能することです。



聞き取りやすい1500mWの大音量

1500mWの大音量で、騒音のひどい場所でも明瞭な通信が可能です。

長時間運用に対応

14.5時間[※]の長時間運用が可能です。

[※] 送信5、受信5、待ち受け90の割合で繰り返し運用。

暗号化による通話の保護

通話は、暗号化セキュリティAES256bitによって保護されます。

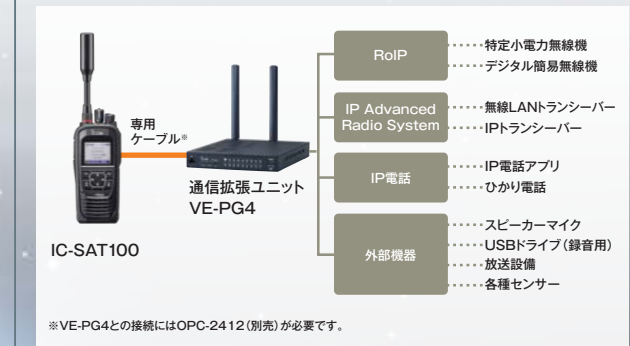
その他の機能

- 音声録音機能
- ショートデータメッセージ機能 (英数字と特定の記号で最大100文字)
- 多言語表示に対応 (日本語、英語、中国語、フランス語、スペイン語)
- Bluetooth[®]内蔵
- GPSレシーバーを搭載し、送信者の位置情報を表示可能
- アンテナ部分にSMAコネクタ採用
- USB充電に対応 (USB Micro-Bタイプ)

従来の無線機やIP無線、IP電話との連携も可能

IC-SAT100間の通信だけでなく、通信拡張ユニットであるVE-PG4と併用することで従来の無線機 (特定小電力トランシーバーや簡易業務用無線機など) やIPトランシーバーとも通信が可能です。また、VoIP通信とも連携可能[※]。(対応予定)

[※] システムの拡張については、案件ごとに技術的・法的な検証や調整を行うため、異なる機器やサービスの組み入れが必要な場合や、導入できない場合があります。



Q3. 通信範囲の設定は？

A 契約した通信範囲は円形や長方形で分割でき、効率よく通信範囲を配分できます。例えばSmallサイズの通信範囲の場合、下記図のように分割し、国内の主要都市をカバーできます。また国内だけでなく、東京、ニューヨーク、ロンドンといった、国をまたいだ地域の設定も可能です。

●通信範囲の分割例



Q4. 通話しにくい場所がありますか？

A 衛星の位置や障害物の有無によっては、送受信できないことがあります。空が広く見える見通しの良い場所で使用してください。無線機は腰にはつけず、肩につけて使用することを奨励します。

Q5. 電話をかけることはできますか？

A 電話をかけることはできません。IC-SAT100はPTT (Push-To-Talk) 専用です。通信拡張ユニットVE-PG4と併用すれば、他の通信システムとも通信が可能になります。(対応予定)